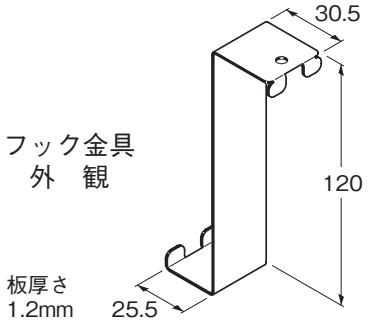
耐火ブロック工法ロクマル床工法用
フック金具

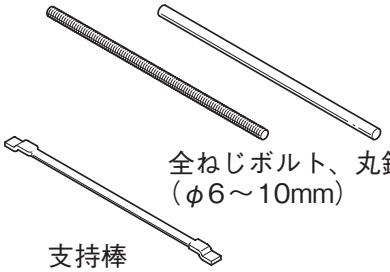
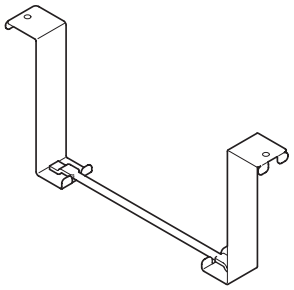
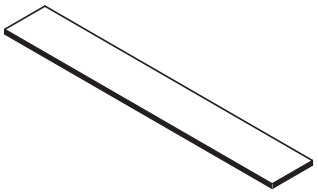
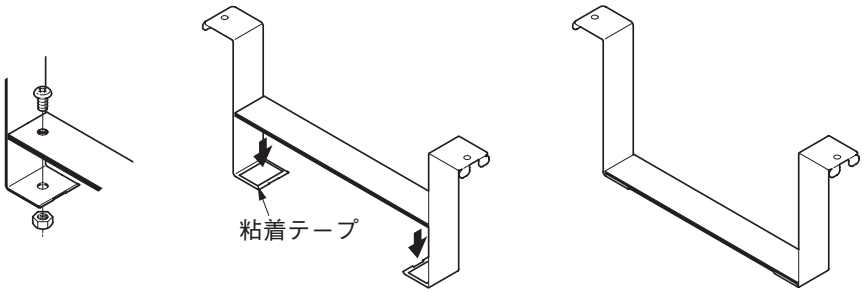
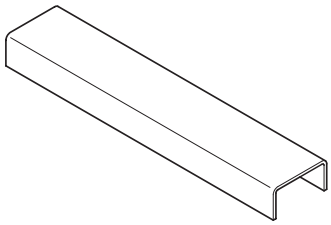
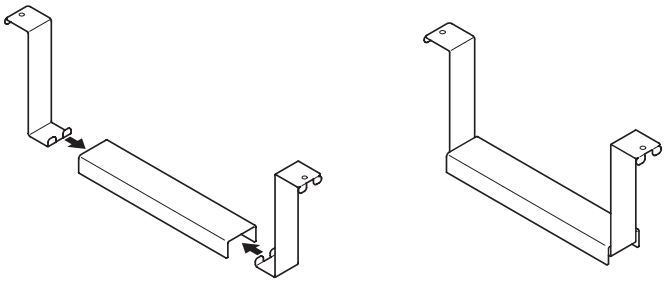
取扱説明書

このたびは、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本取扱説明書とロクマルの取扱説明書、施工要領書をよくお読みの上、現場の状況に合わせて正しくお使いください。



品　番	適用可能な鋼製スリーブのフランジ幅(mm)	フック金具入数(本)	取　扱説明書	梱包質量(kg)
TBK	25、30	30	1	1.7

※支持材(支持棒、鋼板、チャンネル材)は、含まれておりません。
※下記の支持材を別途ご用意し、適宜組み合わせて使用してください。
※支持材の長さは、設置間隔－10mm程度で切断してください。

支持材	支持材との連結方式
① 支持棒を使用する場合  全ねじボルト、丸鋼 (φ6～10mm) 支持棒 (大開口キット同梱品φ8.2×193mm)	 支持棒等をフック金具のツメの間に設置します。
② 鋼板を使用する場合  鋼板 (幅30mm以上、厚さ1mm以上)	 ツメをペンチで数回折り曲げて、折り取ります。  鋼板を両面粘着テープ、またはねじ(M6×10以上)で固定します。 ※両面粘着テープは、厚さ2mm以下とし、金属同士を接着できるものを使用してください。 ※ねじで固定する場合、フック金具と鋼板には、別途穴を設けてください。
③ チャンネル材を使用する場合  チャンネル材	 フック金具をチャンネル材の溝に差し込みます。 ※フック金具のツメは、必要に応じて折り取ります。

施工手順

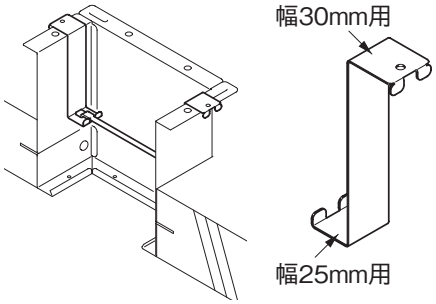
※支持棒等の支持材は、含まれておりません。ロクマル大開口キットに同梱の支持棒をご利用いただくか、または本取扱説明書表面記載の支持材を別途ご用意ください。

※フック金具と支持材は、必要に応じて、粘着テープ、ねじ(M6×10mm以上)で留め付けてください。

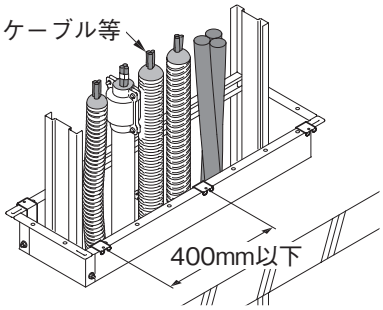
設置個数の目安

開口幅(mm)	個　　数
400以下	両端2個
400 ～　800	両端2個、中間1個
800 ～ 1200	両端2個、中間2個
1200 ～ 1500	両端2個、中間3個

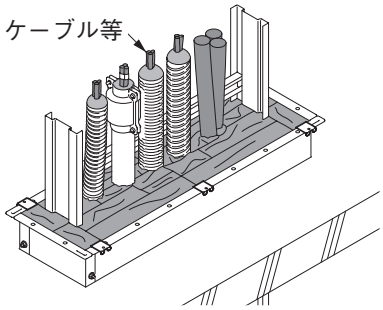
鋼製スリーブ上面工法



①鋼製スリーブのフランジ幅に合わせて、フック金具を取り付け、支持材を設置します。

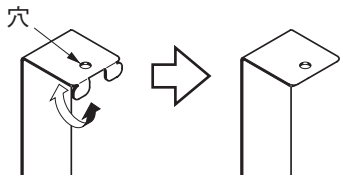


②設置個数(上表)を目安として、必要数を設置します。フック金具の設置間隔は、400mm以下としてください。

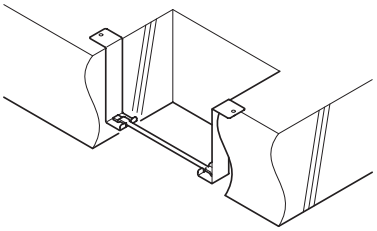


③フック金具や支持材の脱落に注意しながら、ロクマルの取扱説明書等に従って支持板を設置し、ロクマルの耐火ブロックを充てんします。

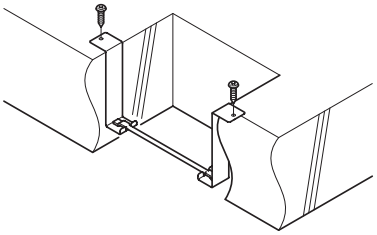
床面工法



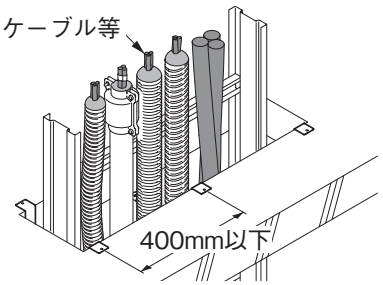
①穴の空いた側のツメをペンチで数回折り曲げて、折り取ります。



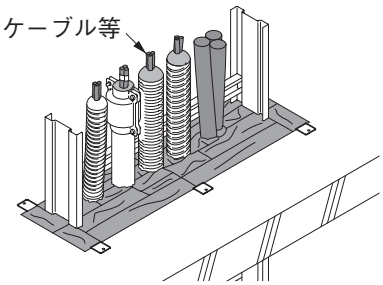
②穴の空いた側を開口部の縁に置き、支持材を設置します。



※フック金具が脱落の恐れがある場合は、コンクリート用のねじ(φ4mm)等で固定してください。



③設置個数(上表)を目安として、必要数を設置します。フック金具の設置間隔は、400mm以下としてください。



④フック金具や支持材の脱落に注意しながら、ロクマルの取扱説明書等に従って支持材を設置し、ロクマルの耐火ブロックを充てんします。

技術事項のご相談･お問い合わせは
株式会社 古河テクノマテリアル 防災事業部
〒254-0016　神奈川県平塚市東八幡5丁目1番8号
TEL ： 0463-24-9341　FAX ： 0463-24-9346
URL ： http://www.fitec.co.jp/ftm
E-mail ： bosai@ftm.fitec.co.jp